

〈ステロイドの副作用について〉

・ステロイド外用薬の効果

炎症を抑える、炎症反応を引き起こす細胞の増殖を抑える、炎症部の血管を収縮させ赤みを鎮めるなど

・ステロイド外用薬の副作用（副作用は主に皮膚にでます）

薬を塗った部分に毛が生える・増える、にきびがでやすくなる・悪化する

毛細血管が目立ち赤くなる、ばい菌・カビ・ウイルスによる感染症がおきる、皮膚が薄くなる

皮膚が赤くなる、かぶれる、傷跡ができる、肉われができる

詳しくはこちら
(ホームページ)



・副作用の中には治らないものもあるため、ステロイドを塗っている間はチェックのため 1~2 週間に 1 回の頻度での通院を推奨しています

※こまめに通院していただくことで、副作用を早く発見することができ、すぐに対応することができます
ステロイドを塗っていないところにも副作用があるので、気づいた段階ですぐに教えてください！

・ステロイドの塗り薬は 1 週間程度で湿疹が良くなる強さがちょうどいいと言われています

※強いステロイドを塗ると症状は早く治りますが、副作用もより早く出やすくなるので注意が必要です！

・塗り薬を自己判断でやめてしまうと、中途半端な治療となり炎症を繰り返してしまいます
塗り薬をやめるタイミングや減らし方は随時診察でお伝えいたします！

・体の部位によって塗り薬の吸収率は異なります

顔や陰部は吸収率が高いため、強いステロイドを塗ると副作用が出やすくなります

そのため、弱めのステロイドでの治療が基本となります！

※体用で処方された塗り薬を顔や陰部に使用しないようにしてください

・ステロイドを塗ると黒くなると思っている患者様は多くいますが、そのようなことはありません

黒くなる現象は炎症後色素沈着といって強い炎症や、繰り返す炎症が原因となります

※色素沈着にならないためにもしっかりと治療が必要です！

ステロイドの効果や中止するタイミング

副作用をコントロールするにはこまめな診察が必要です！

